

令和5年度 小野市の財政健全化判断比率（指標）

指 標 名	小野市の指数	参 考 (令和4年度)	判 断 基 準	
			早期健全 化基準	財政再生 基準
実質赤字比率	－ (△6.17%)	△3.57%	13.06%	20.00%
連結実質赤字比率	－ (△38.38%)	△32.99%	18.06%	30.00%
実質公債費比率	8.1%	7.3%	25.00%	35.00%
将来負担比率	－ (△1.5%)	0.5%	350.00%	－
資金不足比率 (水道事業)	－ (△237.8%)	△214.6%	20.00%	－
(下水道事業)	－ (△54.1%)	△42.0%		
(都市開発事業)	－ (△15.3%)	△14.8%		

毎年度の収支の健全度

◎実質赤字比率 表示数値なし (△6.17%) (R4 : △3.57%)
 税収や交付税など自治体の収入に対する一般会計の赤字額の割合
 (普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率)
 算式… 一般会計実質収支÷標準財政規模

$$739,116 \div 11,967,818 = 0.0617 \text{ (黒字)}$$

◎連結実質赤字比率 表示数値なし (△38.38%) (R4 : △32.99%)
 税収や交付税など自治体の収入に対する公営企業などを含む全会計の赤字額
 (公営企業は資金不足額)の割合
 (全会計を対象とした実質赤字(又は資金の不足額)の標準財政規模に対する比率)
 算式… (一般会計実質収支＋公営企業の資金の余剰額)÷標準財政規模

	(R5)	(R4)
一般会計	739,116	423,023
国保	173,411	93,511
介護	124,317	213,869
後期高齢	21,288	18,519
水道	2,611,703	2,357,908
下水	587,238	463,767
都市開発	336,485	337,602

$$\text{計} \quad 4,593,558 \div 11,967,818 = 0.3838 \text{ (黒字)}$$

毎年度の借金返済の負担割合

◎実質公債費比率 8.1% (R4: 7.3%)

税収や交付税など自治体の収入に対する借金返済費用の割合
(普通会計が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率)

【毎年度経常的に収入される財源のうち、公債費や公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債費相当額（普通交付税で措置されるものを除く。）に充当されたものの占める割合】

算式… [{ (元利償還金 + 準元利償還金) - (特定財源 + 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額) } ÷ { 標準財政規模 - 元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額 }] の
3ヵ年平均 (参考 単年度 R3: 7.63 R4: 8.28 R5: 8.44)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
	元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	積立不足額を考慮して算定した額	満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	一時借入金の子	特定財源の額	事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費	災害復旧費等に係る基準財政需要額	密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金及び準元利償還金
R3	2,100,776			553,909	283,057			200,455	747,407	1,077,463	137,944
R4	2,130,299			546,237	278,222			207,072	713,661	1,057,235	155,607
R5	2,075,580			543,173	272,175			256,911	691,431	909,323	173,206

	⑫	⑬	⑭
	標準税収入額等	普通交付税額	臨時財政対策債発行可能額
R3	8,238,964	2,992,923	884,417
R4	8,616,914	2,972,713	255,916
R5	9,092,467	2,768,929	106,422

(① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦ - ⑧ - ⑨ - ⑩ - ⑪)

交付税算入額

／ (⑫ + ⑬ + ⑭ - ⑨ - ⑩ - ⑪)

標準財政規模

交付税算入額

$$\left(\frac{774,473}{10,153,490} + \frac{821,183}{9,919,040} + \frac{860,057}{10,193,858} \right) \times 100 / 3 = 8.1\%$$

各数値の内訳

①	一般会計公債費 2,075,580	⑨	一般会計 78,678 下水 612,753
④	水道 62 下水 543,111	⑩	一般会計 907,688 下水 1,635
⑤	企業団 270,331 湧水苑 1,489 北播衛生 355	⑪	水源開発出資分 (一般会計) 848 新病院出資 53,557 病院事業 (企業団) 118,801
⑧	市住 21,693 都計税 235,218		

将来における借金返済の財政規模に対する割合

◎将来負担比率 表示数値なし（△1.5%）（R4：0.5%）

税収や交付税など自治体の収入に対する一般会計が将来支払うべき借金等負担の割合

（普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率）

算式… {将来負担額－（充当可能基金金額＋特定財源見込額＋地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込み額）} ÷ {標準財政規模－（元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額）}

将来負担額

	地方債 の現在高	債務負担行為 支出予定額	公営企業債等 繰入見込額	組合等 負担等見込額	退職手当 負担見込額	設立法人の 負債額等 負担見込額	兵庫県	連結実質 赤字額	組合等連結 実質赤字額 負担見込
(R3)	21,515,871	0	3,592,029	2,907,996	2,596,352	0	0	0	0
(R4)	21,188,210	0	3,301,804	2,763,629	2,555,482	0	0	0	0
(R5)	20,262,578	0	3,130,859	2,640,948	2,484,480	0	0	0	0

充当可能額

	充当可能基金	充当可能 特定歳入	うち都市計画税	基準財政需要額 算入見込額
(R3)	8,884,993	1,392,931	1,279,133	20,116,632
(R4)	8,866,565	1,358,593	1,265,260	19,530,257
(R5)	8,840,964	1,417,463	1,344,840	18,418,240

将来負担額 A	充当可能財源等 B	A - B	将来負担比率 (%)
28,518,865	28,676,667	-157,802	
標準財政規模 C	算入公債費等の額 D	C - D	△ 1.5
11,967,818	1,773,960	10,193,858	

公営企業の経営健全度をチェック

◎公営企業における資金不足比率 （資金不足なし）

資金不足額（公営企業の流動負債と流動資産の差）の
営業収益に対する割合